

The Akita University Post

Monday, August 4, 2008 第2号



発行 AUP 秋田大学報道局
主筆 市井了
編集デスク 齋藤基



県合唱コンクールに向けて練習に励む「A.Choir」。(=大学会館にて)

秋田大学混声合唱団「A. Choir」

秋田大学混声合唱団「A. Choir」が、来月二十四日アトリオンで行われる、秋田県合唱コンクールに向けて懸命に練習に取り組んでいる。

混声合唱団「A. Choir」

「A. Choir」(以下エース)は現在大学生二十八名と、指揮者の若狭祥子さん、ピアニスト

の下山節子さんを加えた二十八名で活動している。活動日時は毎週月曜日と木曜日の午後五時から八時にかけて。大学の行事である入学式や卒業式、オーペンキャンパスにおける合唱の他、定期演奏会、県合唱コンク

ル、市の合唱祭、スプリングコンサートやハレルヤコンサートなど、毎年多彩な活動をしている。今年に入ってから主な活動としては、春に映画「うた魂」の試写会で演奏を行なった。ま

た先月アトリオンで行なわれた第三十八回定期演奏会では、秋田大学混声合唱団創立四十五周年を記念し、エースのOB・OGと共に合唱。演奏会のために積み重ねてきた練習の成果を十分に披露した。

県合唱コンクールに向けて

県合唱コンクールでは課題曲と自由曲の二曲を演奏することになっており、課題曲としてラテン語のミサ曲である「Cibavit eos」、自由曲として、フィンランドの歌である「The Beaufort Scale」を合唱する予定。いずれも高度な歌唱力を必要とする曲であるが、合唱団全員が協力し、歌うことを楽しみながら日々練習に取り組んでいる。コンクール間近になると、毎週三回に活動日を増やし、更に土日にも集まるという。練習内容・方法は、各パートで音とりや個人で練習をした後、大学会館二階の研修室や明徳コミュニケーションセンター、ジョイナス県民会館やアトリオンなど様々な場所で全体合唱をする。そしてその都度声色や歌に対する意識、歌詞の意味などを細かく確認し、より作曲者が作曲したものに忠実になるよう音を磨く。部長の井手本啓太さん(医学部四年次)は「合唱は『声』を使って演奏するのが何よりの魅力。メロディや歌を通して自分の伝えたいことを伝えられるのはとても楽しい。次のコンクールでは東北大会出場を目指したいので、メンバー全員と共に頑張りたい」と、合唱に対する気持ちと今後に向けての意気込みを語った。エースについて、詳しくは部長の井手本さん(090-1378001-2496)まで。

(佐藤友理)

合唱を通して伝えるメッセージ

学貴日新

▼ある夏の暑い日、私は瀬戸内海にいた。青春十八切符を握りしめ日本を廻っていた。その日は朝から何も食べていなく、軽い脱水症状で今にも倒れそうだった▼山陽線から見る瀬戸内の海は美しく、太陽からの光粒子が静かに波立つ海面に反射し、遠くダイヤモンドダストのようにきらきらと輝いていた。まるで何も変わらない世界のようには思えた。夕風が世界を包んだ▼ふと、島に渡りたくなった▼徳山で汽車を降り、ひとり小さい遊覧船で大津島へ渡った。大きな観音菩薩が港へ出迎え、私は悟った▼六十二年前、大津島は日本海軍の機密基地だった。そこは人間魚雷「回天」の訓練所であり、前線でもあった▼わずか五メートル程の小さな潜水艦の前方に弾薬を詰め、身動きがとれない程の操舵席から黙視のみで操縦する。天井のハッチは中から開けることが出来なく、搭乗すると二度と地上には出られなかった。皆、十八から二十四歳の学生だった▼高台にある慰霊碑に登った。同年代の手記はもう黄ばんでいたが、その文字一つ一つが今でも生きていたようだった。何かやるせななくなり、涙が溢れ出た▼今の同年代は、今をどう生きていくのだろうか。何かに向かって切磋琢磨しているのだろうか。それとも何も考えていないのだろうか▼もし、六十三年前に二十歳であったならば、自分はどうなっていたのだろうか。私は大津島の海岸で天を仰いだ。悲しくも空が青かった▼その日の夜、広島へ向かった。イサム・ノグチがデザインした平和大橋から原爆ドームを眺めながら人間の優しさを感じた。欲望、傲慢さ、狡さ、厭らしさ。原爆の陰には計り知れない程の悲しみが時を経て満ちていくようだった。広島のネオンサインがやけに人間らしかった▼白い入道雲が暗闇の中を静かに動いた。一瞬、涼しい風が背中を摩った▼今年もまた、八月六日が来る。

対談 AUP × 大学 秋田大学の広報戦略

今年度から、三浦学長から吉村学長に代わり新体制になった秋田大学。秋田大学が目指す方向性とは、また、秋田大学のブランド価値とは何か。秋田大学理事(広報担当)の對馬達雄先生にお話を伺った。

●秋大の目指す方向

市井 了：大学の運営は転換期にあると思います。これから秋大はどこに向かうので

しょうか？

對馬達雄：これからは地域と共に生きる大学を目指したい。秋田のような大都市にある大学は、その地域の抱える問題を解

決する使命がある。それを果たしてこそ存在意義があるとい

える。秋田は何かと暗い話題が多いが、それは大学が力を発揮すべき場が多いということ。また



これからの大学はどうあるべきか、地域との共生が求められる。(=秋田大学本部理事室にて)

大学に五千人近くいる学生の活力は必ずや地域の活力となる。現に吉村学長は秋田市、株式会社「わらび座」と提携し、地域と共に大学を盛り上げていく意欲を見せている。

齋藤 基：地方にある大学はその地域の抱える課題にアプローチしやすい。それを全面的に押し出していくことは地域と大学の双方にとってメリットとなる。大学は地域活性化の「起爆剤」になりえる。

對馬：その考え方は地方大にとってこれからは必要と考え方だ。学生の数が減った今、偏差値で大学選ぶことはなくなっている。受験雑誌の偏差値のみで選ぶ学生はもはやいない。大学は受験生に選ばれ、地域に必要とされなくてはならない。そのため大学で何をやっていくか、関係する人にどんなメリットがあるかという情報を発信しなくてはならない。その意味でも大学における広報は重要になっていっていると言える。

●主体性のためには

齋藤：秋大生の活力が地域の活力につながるおっしゃっていましたが、秋大生の現状をどう思いますか。

對馬：元気に欠けているように思う。もっと自己主張をしてみたい。

齋藤：初めは自己主張できなかった人も秋大に入ったらできるようになった」というのは受験生にとって大きな魅力となり

ますね。市井：秋大だったら何かができる」という気風が大学のブランドになればいい。私は大学生活も残り半年になるが、もっと多くの作品を創り、色々な活動をしたと思う。

對馬：そんな点としてある個々の活動が線に、しかもその線も太く強いものになることを期待している。自分の考えを持ち主張すること、仲間作りをしていこうという気概は日本全体の若者に欠けている。それはモノの豊かさや、考えなくて

も生きていけることが原因だ。大学生の新聞を読む人の割合は15%程度だと言われている。



字を読むと言つのは食事をするように情報を噛み砕いて消化するという能動的な行為なのに、それをしなくなっているから、自分の頭で考える習慣がなくなっているのではないか。そこから主体性なんて生まれない。主体的であることは誰の言いなりにもならないということだ。主体性の喪失が社会の活力の無さにつながっている。

市井：私たちの活動が学生が主体的に動くきっかけになればいい。この新聞も「秋大生がこんな活動をしているんだ」ということをまずは秋大生に知って欲しいという思いで始めた。秋大にも主体性を持って活動している学生が沢山いる。新聞を通して学生同士が刺激し合って欲しい。先の言葉を借りるなら「AUPが秋大の起爆剤」になりたいです。

●学生が広居塔

市井：新聞を秋大だけでなく街中の商店や企業、公共施設にも置いてもらい、「地域の新聞」にしたい。

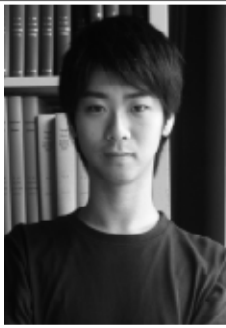
對馬：それこそが「草の根の広報だ。そのためには大学もバックアップをする。大学も地域と共に生きていく努力をしていくが、こういう形で学生がどんどん学外で活躍することが、どんなものにも勝る広報だから。秋田大学が教育をしている学生が外に出て活躍を見せることが、最も大学に人を惹きつける広告となる。

齋藤：まさに学生が広居塔なのです。市井：私も八月に行われる「AKITAカジュアルアーツフェスタ2008」というイベントに作品を出す予定。自分の活動を通して秋大をアピールしたい。

齋藤：学生が広居塔。そのために大学はどうあればいいとお考えですか。

對馬：学生の主体的な活動のバックアップに努めることだ。秋大生が始めたイベントに、今日歩大会やヤートセ秋田祭などがある。これらは地域に定着するまでに成長した。このような学生が自分の存在を主張できるような活動は大いに支援していきたい。「物言わぬ秋大生」がAUPをきっかけに自分の殻を破ってほしい。AUPには学内の情報を収集し、伝えていくことで学生を結ぶ中核となることを期待している。

齋藤：秋大が地域活性の起爆剤になるためには、学生が主体的にならなくてはならない。今回の対談で学生の主体性について深く考えることができた。また秋田大学はそのバックアップを惜しまないということでも強く感じた。AUPは今後も学生の主体性を広げる「起爆剤」となるような紙面づくりに努めたい。(文責 麻生君史)



市井 了 ICHII Satoru 1986年北海道生まれ。函館高等専門学校卒業。秋田大学工学資源学部環境物質工学科4年次在学。AUP主筆 兼 Cd. 映像作家。実験映像やLEDなどを用いたメディアアートを制作している。主な展覧会は二人展「times」小林 潤×市井了 展「秋田市大町 cocolaboratory/gallery」(2008)。



對馬達雄 TSUSHIMA Tatsuo 1945年青森県生まれ。東北大学院教育学研究科博士課程中退。教育学博士(東北大学1984年)。秋田大学理事(企画調整、広報担当)、副学長。秋田大学教育文化学部教授。専門はドイツ教育史・ドイツ現代史と教育、ライヒヴァン研究。ドイツ戦後史と「過去の克服」問題。

グリーン・ツーリズムを語る夜

—百杯会・第9杯目—

秋田市内大町にあるココラボラトリーで恒例となっている百杯会。七月十七日、第九杯目を「ハーブと元気を育てる仕事」をテーマに開催された。ゲストはグリーン・ツーリズムの取り組みをされているガーデンカフェ「time」佐々木さん(にかほ市)と農家民宿「輝湖」の高橋さん(仙北市)。会では佐々木さんのハーブを使った料理を食べながら、お二人の活動やグリーン・ツーリズムについて語り合った。会の後半では麻生有妃(教育文化学部四年次)さんらが「グリーン・ツーリズム体験記」としてtime



秋田市大町cocolaboratoryにて(写真提供=cocolaboratoy)

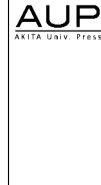
や、timeのある村の様子を紹介。訪問者からの視点と、実践者からの視点の意見交換がなされ、グリーン・ツーリズムへの理解を深めた。ゲストの佐々木さんは「お客さんが私のカフェに来て、村を散歩し、そこで出会った人と交流が生まれることが私なりのグリーン・ツーリズムだと思っています」と話した。参加した麻生さんは「グリーン・ツーリズムや百杯会をきっかけに、毎回新たな出会い、発見をすることができている。」とのこと。大学から少し外に出るだけで、個性的な取り組みをしている人に出会うことが出来る。皆さんもこの夏休みを機に外に出掛けてみては。

百杯会とは

「語り伝えること、耳を傾けること、対話すること」をキーワードに、日々の生活中での疑問、抱いている思いについて世代や立場をこえて語り合う場を、と当スペースで開催されているイベント。

グリーン・ツーリズムとは

農山漁村を訪問・滞在し、その土地の自然・文化や現地の人と顔の見える交流を楽しむこと。地域住民が自分の家の一角をレストランや宿泊所にして食事を提供するものや、農業体験の受け入れをするなど、交流を楽しむ形態は様々である。(市井 了)



インターカレッジに向けて

男子ハンドボール部

秋田大学公認男子ハンドボール部が、来月上旬に行なわれる「東日本インターカレッジ」に向けて練習に励んでいる。

「東日本インターカレッジ」とは、東日本の各ブロック（北海道・関東・北信越・東北）の代表となった四つの大学のハンドボール部が集う大会で、このうちの一位に全日本出場権が与え



一瞬の油断が勝敗を決める。(=秋田大学大体育館)

**プレイヤー
マネージャー
求む!**

フットサルサークルなまらFC
080-6040-4748 (中村)

「東日本インターカレッジ」は、平成十九年度第五十八回東北地区大学総合体育大会「第二位」、「平成二十年度東北地区大学体育大会・ハンドボール競技」第三位など、いずれも好成績を収めた。また来月行なわれる「東日本インターカレッジ」においても一昨年・昨年と連続で出場するなど、更に力を伸ばしている。

部長の高橋龍一さんは、「男子ハンドボール部は常に『全国大会出場』や『優勝』など、志を高く持って活動している。他大学のハンドボール部と比べて人数規模は大きくないが、『小さくても勝てる』というのを確信している」と力強く語った。また最近に迫る「東日本インターカレッジ」については、「去年や一昨年は先輩方の力に頼っていた面もあったが、今年はそのような状況にメンバー全員と頑張りたい」との意気込みを自覚した。

過去の大会では「平成十九年度東北学生秋季ハンドボールリーグ戦 第一位」、「平成十九年度第五十八回東北地区大学総合体育大会 第二位」、「平成二十年度東北地区大学体育大会・ハンドボール競技 第三位」など、いずれも好成績を収めた。また来月行なわれる「東日本インターカレッジ」においても一昨年・昨年と連続で出場するなど、更に力を伸ばしている。

秋田大学男子ハンドボール部は現在、四年度四名、三年度二名、二年度五名、一年次六名の十六名に加え、大学院生二名、監督一名の計十九名で活動している。主に毎週火曜・水曜・木曜や土日に、体育館やハンドボールコートにおいて、フットワー

クやチーム戦術の練習を欠かさずこなす。また早朝練習として長距離ランニングや筋力トレーニングなども行っている。

過去の大会では「平成十九年度東北学生秋季ハンドボールリーグ戦 第一位」、「平成十九年度第五十八回東北地区大学総合体育大会 第二位」、「平成二十年度東北地区大学体育大会・ハンドボール競技 第三位」など、いずれも好成績を収めた。また来月行なわれる「東日本インターカレッジ」においても一昨年・昨年と連続で出場するなど、更に力を伸ばしている。

過去の大会では「平成十九年度東北学生秋季ハンドボールリーグ戦 第一位」、「平成十九年度第五十八回東北地区大学総合体育大会 第二位」、「平成二十年度東北地区大学体育大会・ハンドボール競技 第三位」など、いずれも好成績を収めた。また来月行なわれる「東日本インターカレッジ」においても一昨年・昨年と連続で出場するなど、更に力を伸ばしている。

柔道部 実を結ぶその日まで

柔道部 今年九月に東北学生柔道体重別選手権と、東北学生柔道体重別団体優勝大会が開催される。昨年度は団体で優勝、今年度は二連覇を狙っている。個人部門では前の大会でできた課題を克服しこちらも上

秋大会へ向けて

去る七月六日、第五十回全国国立大学柔道優勝大会が講道館（東京）で開催された。秋田大学柔道部の結果は三位。主将の宮島淳さんは、「ここ数年は筑波大学、埼玉大学に次いで三位という形が続いていた。今年こそ二大学を破って優勝したかったが、かなわず残念。第五十回という記念大会だったので一層悔しい」と語った。

立大学の中でずば抜けているわけではないが、毎日練習を積み重ね努力している」と一歩一歩着実に力をつけていくことを心掛けていくようだ。納得のいく結果が出せるまで目標を高く持ち続けている柔道部。しかし、何よりも日々の努力がその結果となることを彼らは知っていた。

立大学の中でずば抜けているわけではないが、毎日練習を積み重ね努力している」と一歩一歩着実に力をつけていくことを心掛けていくようだ。納得のいく結果が出せるまで目標を高く持ち続けている柔道部。しかし、何よりも日々の努力がその結果となることを彼らは知っていた。



精神の鍛錬と技が柔道の神髄だ。(=秋田大学柔道場)

位を目指すようだ。特に立ち技や組み手の型があることが多く、どんな型でもできるような強化していくという。

宮島さんは「三戸監督の指導の下、自身の濃い練習をしているので日々、地道に練習に励んでいきたい。秋田大学柔道部は全国の国

立大学の中でずば抜けているわけではないが、毎日練習を積み重ね努力している」と一歩一歩着実に力をつけていくことを心掛けていくようだ。納得のいく結果が出せるまで目標を高く持ち続けている柔道部。しかし、何よりも日々の努力がその結果となることを彼らは知っていた。

立大学の中でずば抜けているわけではないが、毎日練習を積み重ね努力している」と一歩一歩着実に力をつけていくことを心掛けていくようだ。納得のいく結果が出せるまで目標を高く持ち続けている柔道部。しかし、何よりも日々の努力がその結果となることを彼らは知っていた。

LIGHTHOUSE

学生協力員を募集しています。
秋田大学 学生総合支援センター TEL 018-889-2265



汗を流し、パスを回しながらグラウンドを駆け回る秋田大学ラグビー部。

立大学の中でずば抜けているわけではないが、毎日練習を積み重ね努力している」と一歩一歩着実に力をつけていくことを心掛けていくようだ。納得のいく結果が出せるまで目標を高く持ち続けている柔道部。しかし、何よりも日々の努力がその結果となることを彼らは知っていた。

立大学の中でずば抜けているわけではないが、毎日練習を積み重ね努力している」と一歩一歩着実に力をつけていくことを心掛けていくようだ。納得のいく結果が出せるまで目標を高く持ち続けている柔道部。しかし、何よりも日々の努力がその結果となることを彼らは知っていた。

立大学の中でずば抜けているわけではないが、毎日練習を積み重ね努力している」と一歩一歩着実に力をつけていくことを心掛けていくようだ。納得のいく結果が出せるまで目標を高く持ち続けている柔道部。しかし、何よりも日々の努力がその結果となることを彼らは知っていた。

立大学の中でずば抜けているわけではないが、毎日練習を積み重ね努力している」と一歩一歩着実に力をつけていくことを心掛けていくようだ。納得のいく結果が出せるまで目標を高く持ち続けている柔道部。しかし、何よりも日々の努力がその結果となることを彼らは知っていた。

ラグビー部、人数が足りない!

広告の可能性とは... AUP 広告部まで一報を! AUP

秋田大学 オープンキャンパス 2008

2008. 8. 7. 10:00~

手形キャンパス 教育文化学部・工学資源学部
本道キャンパス 医学部(医学科・保健学科)

秋田大学 学務部入試課 〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号 TEL: 018-889-2256 E-mail: nyushi@jimu.akita.ac.jp

EBISUYAH KARAOKE STATION SINCE 2006

from **AA**

カラオケステーション エピカラ
Point 制導入致しました。素敵なプレゼントをご用意しております! Tel 018-837-5677

古着 & Talk Bar

オークション代行も行っております。お気軽に遊びにおいでください。ゴジラの窓のお店です。

AUP Photo Library.



— 空と繋がる — 教育文化学部3号館 (報道班 小林 潤)

夏の夕風 陽炎に舞う

秋田大学竿燈会

三十二年目の竿燈まつり

夕方五時過ぎ、手形キャンパスに祭囃子が響く。秋田名物竿燈まつりの練習が行われているためである。参加者は秋大職員が大半を占めている。

秋田市竿燈まつり実行委員会事務局のホームページによると、竿燈まつりは、真夏の病魔や邪気を払う『ねぶり流し行事』として宝暦年間にはその原型となるものが出来ていたという。そのような歴史ある竿燈まつりに、秋田大学は今から三十二年前の昭和四十七年に初参加。代表の三浦敏秋さんによると、当時参加者の中には竿燈まつり経験者が一名いたのみで、ほぼ初心者みみの状態からスタートしたという。現在は初心者も数名いるが、長年参加しているベテランがほとんど。高さ七メートル、重さ五十キログラムの竿燈を持つ担ぎ手が約二十名、御囃子が十二・三名、計約三十五名で練習している。元職員の清水利恵さんは、今年で四回目の参加となる。「もともとお祭りが好きだったが、参加するきっかけがなかった。そこで、秋大の職員の団体を知り参加した。仕事を辞めた後も、参加させてもらっている」と話してくれた。

学生も参加する

参加者の大半を職員が占める中、数名の学生も参加している。小原千絵さん(医学部四年次、御囃子)もその一人である。小原さんは一年次にメンバーに入

れてもらった。「参加者の皆さんは竿燈まつりが好きで集まっているので参加して楽しんでよかったです」と話す。市井了さん(工学資源学部四年次)は竿燈の演者に挑戦。「竿燈には言葉では言い表せない魂が込めら

れている。それを体感したかった」という。

さて、今年は何...

今年の竿燈まつりは今月三日(日)から六日(水)までの四日間に行われる。開催中

は、竿燈通りでの夜本番のほか、秋田駅西口アゴラ広場においてなまはげ太鼓などの昼のイベントも行われる。また、毎晩八時四〇分からは、写真撮影や竿燈体験が可能となる。秋大関係者の竿燈妙技をぜひ見に行ってみよう。(加藤千恵)



重さ約50Kgの竿燈。体重が左足に直線上に乗らないと姿勢を保つことが出来ない。

AUP INFORMATION

8月7日 10:00~
オープンキャンパス2008
手形キャンパス 本道キャンパス

8月7日 17:30~18:30
天文講演会「星座のはなし(予定)」
夏の星座についてみなさんの疑問・質問に答えながら解説します。
教育3号館3-301地学実験室

8月19日・23日 19:30~20:30
夜間観察会~木星観察~
天体望遠鏡で木星や夏の星座を観察します。
曇りの場合は、天文台見学、惑星観察ゲームなどをを行います。
教育3号館3-402天体観測室

8月23日~24日 12:00~
「24時間チャリティーウォーク&ラン'08」
陸上競技場1周につき10円の募金をお願いします。
~集まった募金は24時間テレビに寄付いたします~
秋田大学陸上競技場
問合せ先:大会事務局(090-6452-1698)

8月30日~9月7日
AKITAカジュアルアーツフェスタ2008
秋田市仲小路

9月17日
キャンパスクリーンデー

9月19日・26日 13:30~
秋田大学東京サテライト教養セミナー『秋田学』を学ぶ
東京キャンパスイノベーションセンター

9月26日 9:00~
サークルリーダー研修会
小体育館・大会館2階

9月27日 13:30~
公開講座「健康と生活を考える-秋田でよりよく生きるために-」
保健学科

編集後記

夏が来た。秋田の夏は湿度が多く、秋大生はあまり外には出たくないだろう。私はどちらかと言えば行動派なので、毎年バックパックを背負って旅に出るが、今年はどうもそうはいかないみたいだ。AUPの創設や何やらで

えらく騒がしい。しかし、この騒がしさも学生だからこそこの面白さのような気がする。秋大生諸君、どうか殻を割り今年のはつちやきになるのではないかと！
大学生の貴重な青春を、二度とないこの時を精一杯満喫することにしよう。
(主筆 市井了)

「林檎」(C)AULSF 2007

AULSF
aulsf@hotmail.co.jp

秋田大学鍵盤の会 p.f.



毎週火曜日 18:00~19:00
教3-318

若手実力派美術家雨宮庸介のパフォーマンス公演と美術批評家土屋誠二氏、成相肇氏との刺激的トークセッション in コラボラトリー

ムチウチニューロンA




knowledge (translated)
2007 oil on non foaming urethane foam, wood
9.3x8.8x7.3cm Courtesy: Yuka Sasahara Gallery

トーク&パフォーマンス
プログラムA: 8/9(土) 19:00-21:00 ¥1,500
プログラムB: 8/10(日) 13:30-15:30 ¥1,500
作品展示: 8/9(土) 12:00-20:00 Free
10(日) 12:00-17:00 Free
*A・B両日通し券 ¥2,000

詳しくはケータイパソコンから
<http://cocolab.jugem.jp/>

美術の本
写真の本
ミニコミ
自主流通本なら!

大町川反中央ビル
書籍販売 **まど枠**



madowaku-books.com